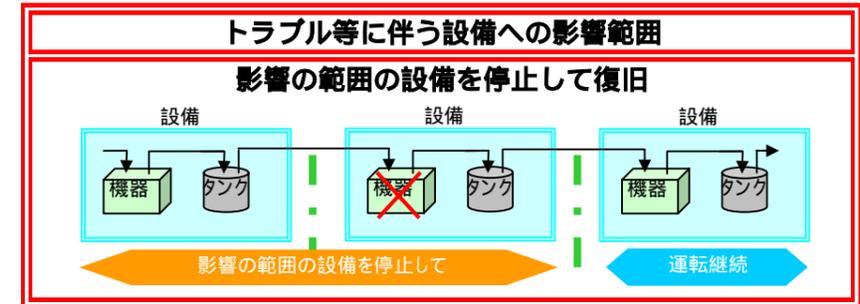
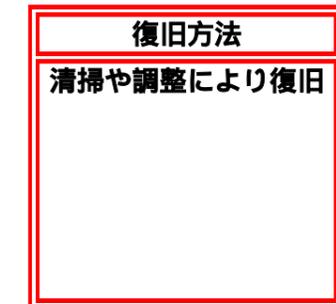
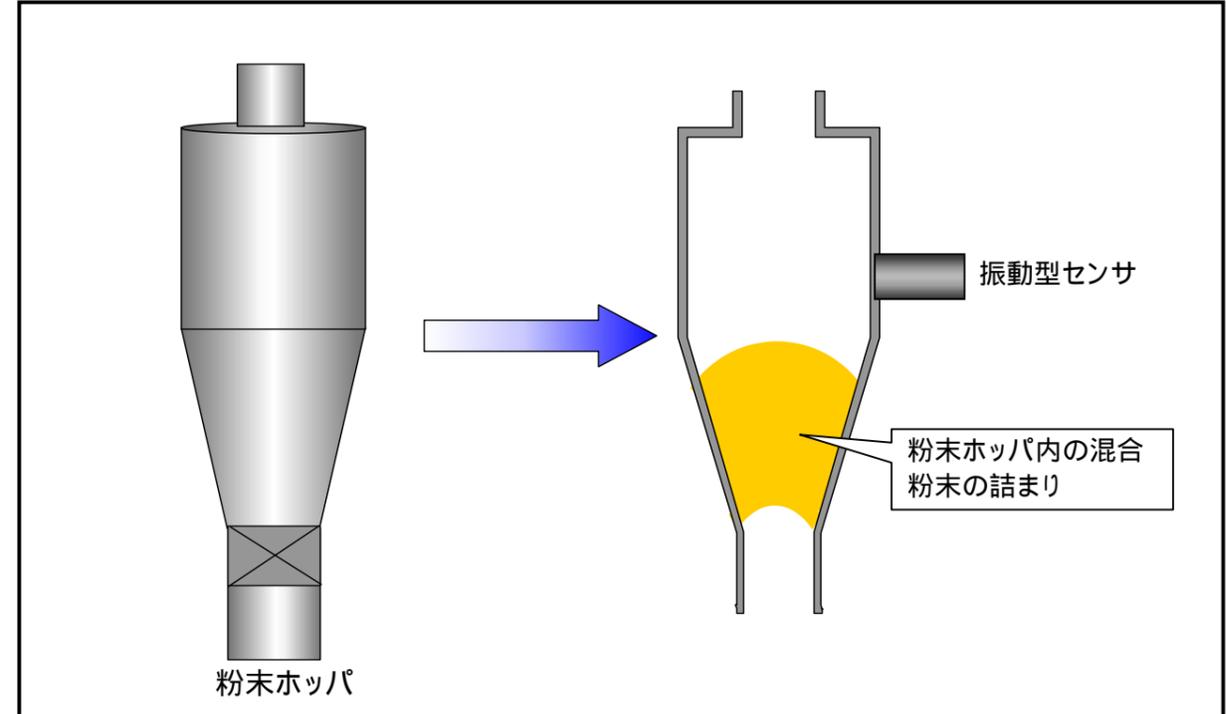
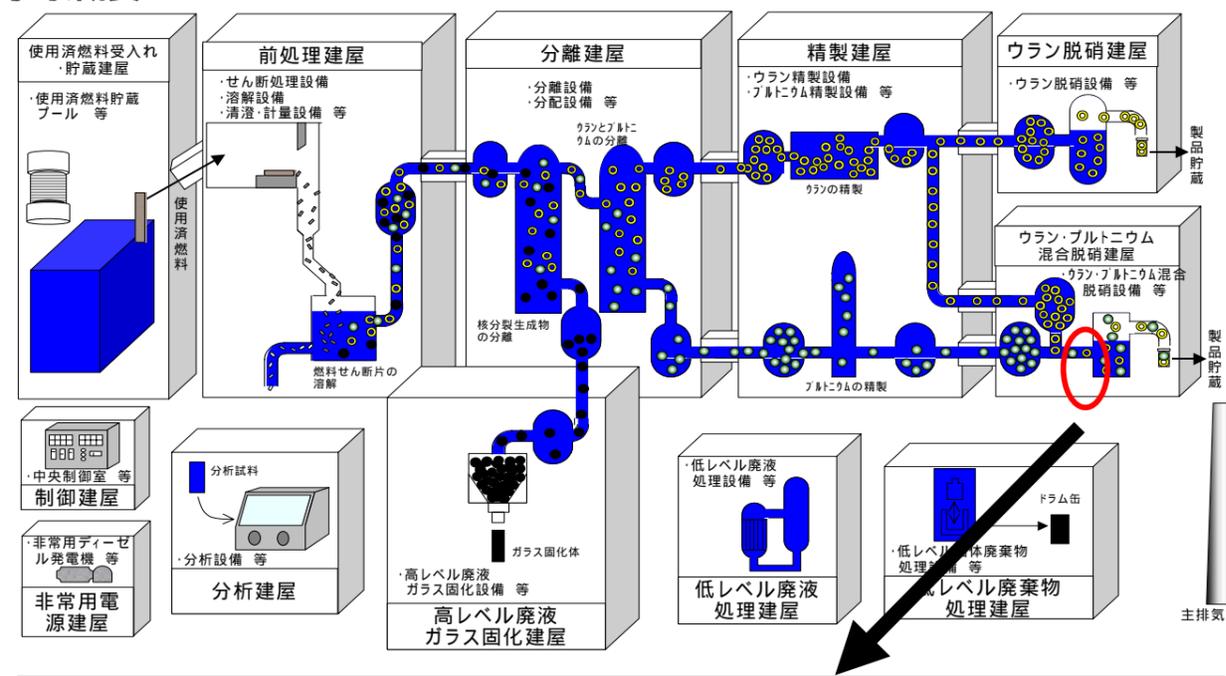


再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応

(No.1-33)

<p>件名</p>	<p>焙焼炉粉末ホッパにおける詰まり</p>															
<p>事象の概要</p> <p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 設備の概要</p> <p>(3) 発生の状況</p> <p>(4) 概要</p> <p>(5) 原因</p>	<p>ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋: 粉末ホッパ(粉末取扱い装置の一部)</p> <p>混合粉末を移送する際、受取側に設けてある一時的な受槽。なお、粉末ホッパは2系統(並列運転)ある工程に設置されており、片方の系統が停止しても、もう片方の系統は運転を継続できる。</p> <p>粉末ホッパでのウラン・プルトニウム混合(MOX)粉末一時貯留中</p> <p>粉末ホッパ内で混合粉末の詰まりにより、MOX粉末の移送停止。 *還元炉においても同様な事象の発生が予想される。</p> <p>運転を継続することで発生する詰まり(予め対応手順を定めている)</p>															
<p>事象による影響</p> <p>(1) 工場外への影響</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p>(4) 他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有するウラン・プルトニウム混合脱硝建屋換気設備が稼働しているグローブボックス内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 粉末ホッパが詰まると、粉末レベル高により混合粉末の移送が自動停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。なお、粉末の詰まりにより製品の生産効率が一時的に低下するが、本設備は臨界にならないように形状寸法管理を行っているため詰まりに伴う堆積等により臨界になることはない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 粉末ホッパの復旧作業に当たっては、定められた放射線管理計画書に従って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>上流の工程の運転に影響が生じる。 粉末ホッパの詰まりに伴い、ウラン・プルトニウム混合脱硝工程の運転に影響が生じる。さらに、上流の精製建屋以前の工程は、一時的な貯留槽(ウラン濃縮液第2受槽、プルトニウム濃縮液一時貯槽等)の残液量で運転継続の可否を判断する。なお、粉末ホッパは2系統(並列運転)ある工程に設置されており、片方の系統が停止しても、もう片方の系統は運転を継続できる。</p>															
<p>対応の概要</p>	<p>(1) 混合粉末の詰まりによる閉塞であることを確認する。</p> <p>(2) 定められた作業手順に従って、粉末ホッパの閉塞をグローブ作業により解除し、定められた操作手順に従って運転を再開する。</p>															
<p>公表区分*1</p>	<p>毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)</p>															
<p>情報区分*1</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="2">運転情報</th> </tr> <tr> <th>A情報</th> <th>B情報</th> <th>C情報</th> <th>ごく軽度な機器故障</th> <th>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不適合等</td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報		A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等					不適合等
トラブル情報			運転情報													
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等												
				不適合等												

事象概要



*1 『A情報』:安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、 『B情報』:事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、 『C情報』:A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象